

2024年 新年のご挨拶



日本脊椎脊髄病学会 理事長 波呂浩孝

新年あけましておめでとうございます。日本脊椎脊髄病学会は1974年に津山直一先生、服部奨先生、井上駿一先生、小野啓郎先生、が日本脊椎外科研究会を発足されて、今年で50年を迎えました。2023年は5月8日に医療業界に大きな衝撃を与えたCOVID-19感染症が「5類」に引き下げされました。その後、各病院内での対応は大きく変化し、我々の日常生活も「コロナ前」とまでは行きませんが、日常生活や人との接し方は大きく変化しました。JSSRの会員の先生方はこの間も脊椎脊髄疾患の診療と、脊椎脊髄病の進歩のために、尽力されてこられたと思います。2024年も新たな目標に向かって果敢に挑戦し、患者さんにより良い医療が届けられるように社会貢献をして参りましょう。2024年4月には渡辺雅彦会長が主催する第53回学術集会が横浜で行われます。多くの会員の皆様が参加され、会員同士の連携をさらに深めて、これからの医療や医学の発展に尽力していただきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

【今後の日本脊椎脊髄病学会について】

この10年で委員会数が約1.5倍と増加しました。一方で理事数の変更がなかったために、担当理事の兼務が増加し、業務過多の状態です。そこで、適切な業務遂行のために理事数の増加を検討し、今後の学会運営を考える「あり方委員会」の創設を考えております。

【JSSR-DB（日本脊椎脊髄病学会データベース）】

金村徳相理事、有馬秀幸委員長、を中心に活動しています。2022年度の登録は158,330件が承認済みデータとなり、症例の完全固定となりました。今後、年次報告の作成や英文論文の投稿に向けて準備が進んでいます。また、2023年度の登録数は2023年11月1日現在で71,519件となっています。今後、リスクカリキュレーターのpilot入力の開始を目指して準備を進めます。

【脊椎脊髄外科専門医】

中村雅也副理事長、藤田順之委員長、を中心に活動しています。脊椎脊髄外科専門医は2022年4月15日に開催された日本専門医機構第23回理事会で、日本専門医機構サブスペシャリティ領域として認定されました。また、2023年8月29日にサブスペシャリティ専門研修細則改定が機構から提出され、脊椎脊髄外科領域は機構が指定するカテゴリー1の領域に認定されました。

専門医制度の詳細はQ&Aを作成し、

ホームページ (<https://ssl.jssr.gr.jp/assets/file/committee/subspecialty.pdf>)

に掲載し、会員に周知を行っています。ご確認をお願いします。

【脊椎脊髄外科指導医】

田中信弘理事、相澤俊峰委員長、を中心に活動しています。脊椎脊髄外科専門医制度の構築に対応して、脊椎脊髄外科指導医の申請要項の変更を行いました。

2023年11月28日のJSSR News Letterでも周知を行いました。

(https://ssl.jssr.gr.jp/assets/file/common/about/coach_rule.pdf)

今後、JOANR/JSSR-DBを利用して、申請手続きが実施できる体制を検討しています。

また、指導医の先生方で専門医を取得していない先生は約150名です。2024年の試験が最後の移行措置となりますので、必ず受験ください。

【脊椎関連学会連携促進：Spine Week Japan 2025開催に向けての取り組み】

大鳥精司理事、古矢丈雄委員長、を中心に活動しています。日本側彎症学会、日本脊椎インストゥルメンテーション学会、日本低侵襲脊椎外科学会、最小侵襲脊椎治療学会、日本脊椎前方側方進入手術学会、日本成人脊柱変形学会、の6学会と協議を行い、2025年10月30日から11月1日の3日間の日程でSpine Week Japan 2025として学術集会を共同開催とします。また、第2回SWJは2026年11月19日から21日にパシフィコ横浜で開催され、日本腰痛学会が新たに参加することになりました。現在、抄録フォームの統一や査読の方法について検討を行っています。

【JSSRプロジェクト研究】

橋爪洋理事、海渡貴司委員長、を中心に活動しています。診療ガイドラインと関連した1)「頸椎術後外固定(頸椎カラー)の有用性について(特定臨床研究)」、2)「腰部脊柱管狭窄症に対する固定術の骨癒合状態は手術成績に影響を与えるか?」、3)「頸椎症性脊髄症において、固定術の追加は後方除圧術単独に比べて有用か?」、が立案され、詳細な研究開発計画を検討することになりました。

また、これまで実施されてきた 6 件のプロジェクトについては継続されています。4) 腰曲がりに対する運動療法、5) 頸肩腕症に対する薬物治療、6) 腰椎疾患に対する神経根ブロック療法の有用性、について登録が終了し、それぞれ論文投稿準備、査読中、データ収集後統計解析、となっています。

【国際委員会】

伊東学理事、酒井大輔委員長、を中心に活動しています。日本脊椎脊髄病学会と North American Spine Society (NASS) が 3 年に一度、両国の中間点であるハワイ諸島にて合同開催している、Spine Across the Sea が 2024 年 7 月 28 日から 8 月 1 日までハワイ、カウアイ島の Grand Hyatt Kauai Resort & Spa で渡辺雅彦 Chairman の下で開催されます。初開催から 30 年の記念すべき会となりますので、是非ご参加ください。また、韓国脊椎外科学会 KSSS とは学術集会やトラベリングフェロー等について協力することになり、MEMORANDUM OF UNDERSTANDING (MOU) を締結し、さらに連携を促進します。

紹介できなかった委員会を含めて計 22 の委員会が活動しています。また、理事会は毎月開催し、学会の進捗を行って参りました。2024 年度も JSSR 会員の皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。最後に、会員の先生方のご健康とさらなる飛躍を祈念いたします。